

## 緑色端子台の使用上の注意

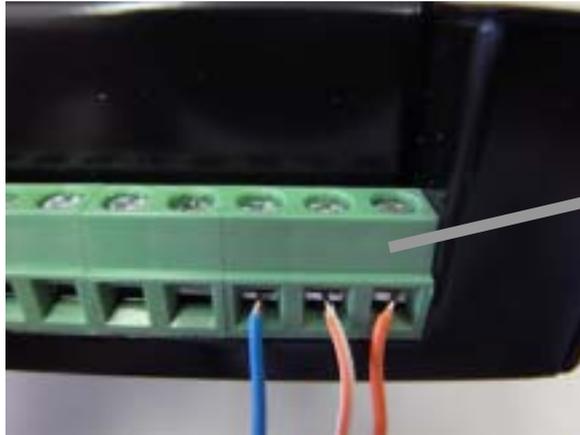
下図で示す緑色端子台（フェニックス社および同互換品）の使用上の注意をここに示します。

### 線材の固定方法について

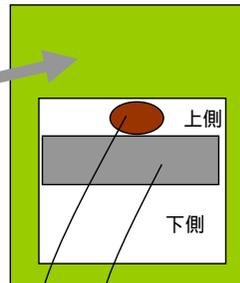
必ずネジを " 左いっぱい " の状態にしてから 線材 を挿入して下さい。  
 その時、剥き出した裸線の長さはおよそ 7mm 程度が妥当です。  
 それから " 右いっぱい " まで締め付けて下さい。

誤って " 中間 " や " 閉 " の状態から線材を挿入しますと、( " 状態 " 各説明は次ページ参照 )  
 金属接触子の下側にもぐりこみ 誤動作 や 線材の抜け事故 の元になります。

下図がネジを " 右いっぱい " に締めた状態での正常な線材固定時の写真です。



左図の断面図



線材には、単線 0.5~0.6mm 以上を推奨いたします。  
 より線の場合は、必ず " よじって " 誤って金属接触子の下側に、  
 潜り込まないように注意して下さい。

金属接触子

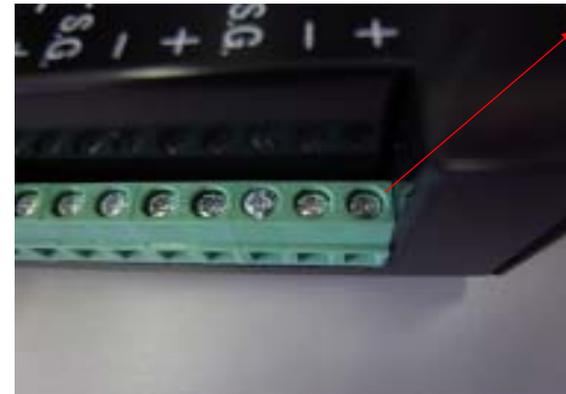
線材の裸線部

~~~~~  
 ご質問・お問い合わせは下記どうぞ！

株式会社システムサコム販売  
<http://sacom.co.jp>  
[info@sacom.co.jp](mailto:info@sacom.co.jp)  
 ~~~~~

次ページは、本端子台の構造など詳細説明です。

## 端子台の詳細について



端子ネジには、  
 マイナス形状



または



マイナスに  
 プラスを  
 加えた形状

が存在します。



ネジを左右に回すと  
 左図のように  
 内部の金属接触子が  
 上がり下がります。

" 左いっぱい " へ回すと " 開 " 状態になります。( 下図の左4ヶ )

ネジを中間位置にすると " 中間 " 状態になります。( 下図の中央3ヶ )

" 右いっぱい " へ回すと " 閉 " 状態になります。( 下図の右3ヶ )



工場出荷時は " 開 " 状態です。